今金町地域公共交通確保維持改善協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

今金町は人口の約2割が75歳以上の高齢者であり、その割合は更に増加することが予想されるため、現在の自家用車中心の地域交通のままでは今後日常生活において不便が生じる世帯が増加することが懸念される。

このため、町内の交通不便地域の解消を図ることを目的として、地域間幹線系統（函館バス瀬棚線）に接続する地域内フィーダー系統のデマンドバスを運行し、地域の生活交通ネットワークの構築を進めるところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

平成29年度より利用実績が減少傾向であることから、平成28年度と同等以上の利用実績を目標とする。

予約バス「ルンるん号」全体の利用者数　3,600人

地域公共交通の現況

・函館バス株式会社（町内1路線）
　～国鉄廃止に伴う代替幹線バス路線
・スクールバス
・患者輸送バス

協議会開催状況

令和元年12月19日　令和元年度第2回協議会を開催
・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について　等
令和2年3月26日　令和元年度第3回協議会を開催（書面会議）
・次年度事業計画（案）について　等
令和2年6月5日　令和2年度だ1回協議会を開催（書面会議）
・地域内フィーダー系統確保維持計画について　等
令和2年12月18日　令和2年度2回協議会を開催（書面会議）
・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について

令和２年度事業概要

予約バス「ルンるん号」【八束・白石地区】【金原・豊田地区】【日進地区（補助対象義）】【田代・稲穂地区】
・運行形態：デマンド型フィーダー路線
・運行事業者：有限会社東ハイヤー
・運行日：平日、土曜日（日曜日・祝日は運休）
・運賃：1回（片道）200円

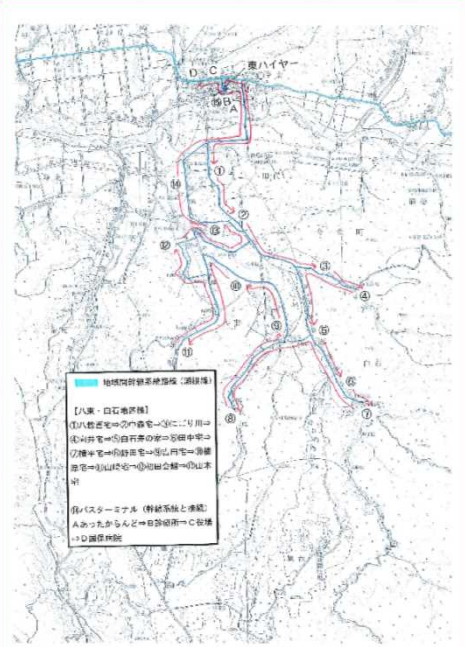
令和２年度事業の実施状況

１）プロセス、創意工夫

〇プロセス
・フィーダー路線のエリア選択は、平成25年度実施の今金町地域交通サービス導入調査及び地理的事情に勘案し決定。
・前年度に実証調査運行を行い、最終的なダイヤを決定。
〇創意工夫
・地域住民説明会の開催、町広報紙による周知、運行地区全世帯への時刻表の配布、患者輸送バスに同乗し制度切り替えの説明等により、住民周知を行った。
・平成30年4月より、複数名又は団体による一括予約やファックスでの予約を可能とし、より利用しやすい受付体制を整えた。
・令和元年7月より、これまで下車のみであった市街地エリアでも乗車を可能とし、継続して運行を実施した。

２）運行系統

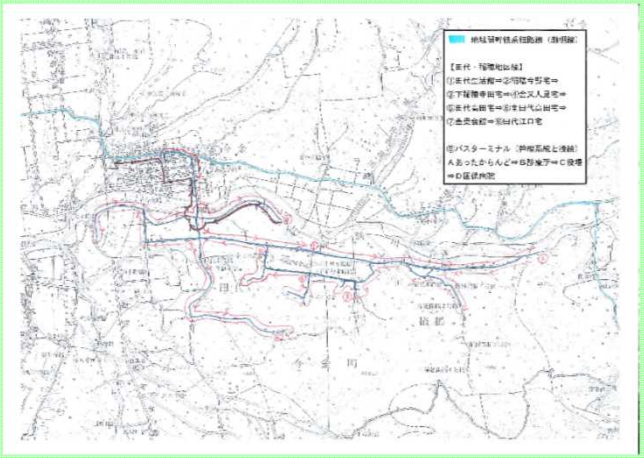
八束・白石地区



金原・豊田地区

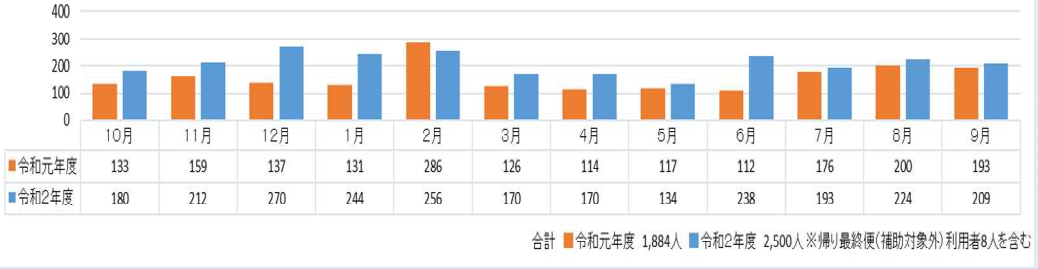
日進地区

田代・稲穂地区



３）利用実績

八束・白石地区



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和元年度	133	159	137	131	286	126	114	117	112	176	200	193
令和2年度	180	212	270	244	256	170	170	134	238	193	224	209

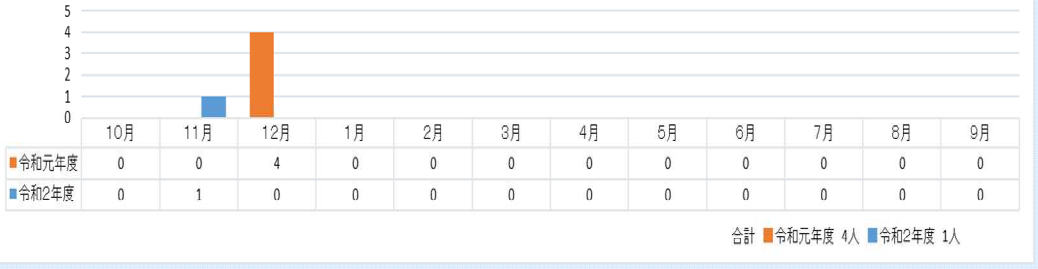
合計 令和元年度 1,884人 令和2年度 2,500人※帰り最終便(補助対象外)利用者8人を含む

金原・豊田地区

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和元年度	37	40	89	65	57	55	48	55	42	45	47	50
令和2年度	38	65	48	48	39	27	31	33	32	53	20	33

合計 令和元年度 630人 令和2年度 467人

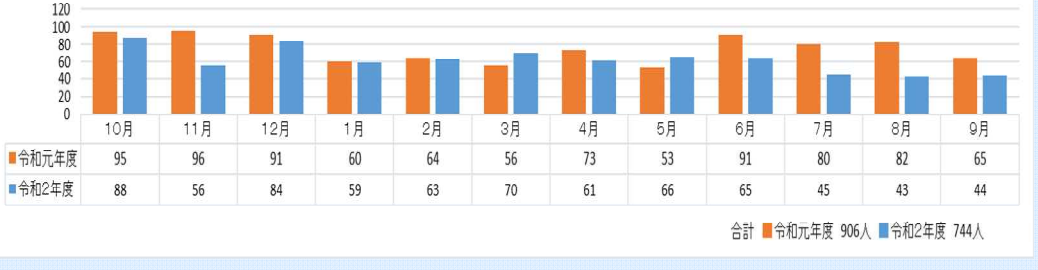
日進地区(補助対象外)



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和元年度	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

合計 令和元年度 4人 令和2年度 1人

田代・稲穂地区



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和元年度	95	96	91	60	64	56	73	53	91	80	82	65
令和2年度	88	56	84	59	63	70	61	66	65	45	43	44

合計 令和元年度 906人 令和2年度 744人

４）収入実績

八束・白石地区

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和元年度	26,600	31,800	27,400	26,200	57,200	25,200	22,800	23,400	22,400	35,200	40,000	38,600
令和2年度	36,000	42,400	54,000	48,800	51,200	34,000	34,000	26,800	47,600	38,600	44,800	41,800

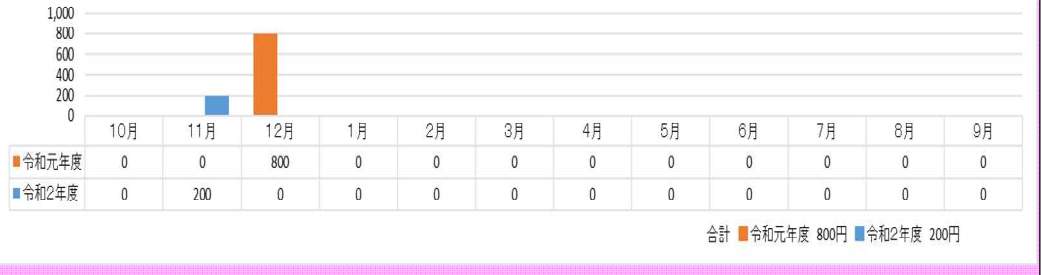
合計 令和元年度 376,800円 令和2年度 500,000円※帰り最終便(補助対象外)料金1,600円を含む

金原・豊田地区

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和元年度	7,400	8,000	17,800	13,000	11,400	11,000	9,600	11,000	8,400	9,000	9,400	10,000
令和2年度	7,600	13,000	9,600	9,600	7,800	5,400	6,200	6,600	6,400	10,600	4,000	6,600

合計 令和元年度 126,000円 令和2年度 93,400円

日進地区(補助対象外)



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和元年度	0	0	800	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度	0	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

合計 令和元年度 800円 令和2年度 200円

田代・稲穂地区

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和元年度	19,000	19,200	18,200	12,000	12,800	11,200	14,600	10,600	18,200	16,000	16,400	13,000
令和2年度	17,600	11,200	16,800	11,800	12,600	14,000	12,200	13,200	13,000	9,000	8,600	8,800

合計 令和元年度 181,200円 令和2年度 148,800円

5）事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

6）目標・効果達成状況

各路線で新型コロナウイルスの影響による利用減が見られるものの、昨年から実施している乗車可能エリアの拡大により全体の利用者数は増加し、目標を達成した。

目標：3,600人/年
実績：3,712人/年（103%）

7）事業の今後の改善点

・利用者への聞き取り等によりニーズを適切に把握し、ダイヤ設定の見直しなどを検討する。
・広報紙面やチラシの配布等継続した情報発信を行い、利用促進を図る

8）地方運輸局における二次評価結果

・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
・新型コロナウィルス感染症の影響はあったものの、利用者数の目標を達成することができた。引き続き利用促進の取組を継続いただくとともに、新たな目標値を設定するにあたっては、持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。
・今後も継続的に実施していくためにも、地域公共交通計画を策定することを強く期待する。